

LS 株式会社の Q Stay and Lounge 上野によるコロナ禍での観光対策

法文学部 法経社会学科

3年 赤池和哉

目次

1. 施設概要
2. 宿泊業界のコロナによる影響
3. Q Stay and Lounge 上野による取り組み
4. 考察
5. 参考文献・URL

1. 施設概要

名称：Q Stay and Lounge 上野

所在地：東京都台東区東上野 2-13-2

運営：LS 株式会社

LS 株式会社は、旅館業・飲食業の運営管理を行う会社である。日本における魅力ある資源を活用して独自のインバウンドブランドを立ち上げた。主に、ホテル、カフェバーの企画・運営をしている。そして、変化していくライフスタイルに合わせて、新しいニーズや流行を捉え、AI を積極的に活用することで若者に対して「Face to Face」を強調する価値のある時間、場所を創ることを企業目標として掲げている。

2. 宿泊業界のコロナによる影響

取り組みを上げる前に、宿泊業界が新型コロナウイルスによってどの程度の影響を受けたのか挙げる。

ホテル業界が新型コロナウイルスによる影響を受け始めたのが、2月といわれている。そして、緊急事態宣言が発令された3月末ごろから本格的に業績が悪化した。4月には、カプセルホテルを展開する「ファーストキャビン」が破産手続きを開始した。その後、「WBF ホテル&リゾート」が民事再生法適用を申請するなど大手の破綻も相次いだ。インバウンド需要の低迷や自粛による利用減少などコロナウイルスによる影響は大きい。外国人旅行者の需要は今後もあまり期待できないため、日本人向けに需要を作る方向で動くべきだろう。倒産する企業の多くが資金繰りの悪化によるものであるため国の施策、借入、クラウドファンディング、未来の宿泊券などの活用で今後の資金を準備する必要がある。

参考：[ホテル業界の新型コロナによる影響は?-業界動向サーチ \(gyokai-search.com\)](https://www.gyokai-search.com/)

3. Q Stay and Lounge 上野による取り組み

Q Stay and Lounge 上野も同様に宿泊業界の影響を受けており、客室がカプセルタイプの相部屋となっていることも相まって稼働率は10%を切る大打撃を受けた。その状況の中で、少しでも需要を喚起するため、カフェバーで異文化交流イベントを開催し、多くのゲストに参加を促し、日中の空いた客室を利用することで昼寝やテレワークに活用できる空間を作るなど様々な取り組みを行ってきた。

画像1 カフェを用いた異文化交流の様子



しかし、本格的な自粛要請が出されると感染対策を行いつつも、ホテルに人を呼ぶこと自体が困難になった。そのため、「少し先の宿泊券」を販売した。通常の30%から54%の割引をすることで需要を促した。

参考：[【コロナに負けるな】穏やかな日が戻ったら、来てほしい…好きなときに泊まれる、「すこし先の宿泊券」の販売を開始 | LS株式会社のプレスリリース \(prtimes.jp\)](#)

画像2 少し先の宿泊券



4. 考察

今回、Q Stay and Lounge 上野を紹介した。各企業が資金繰りに苦しむ中で未来における宿泊券を販売するなど多くの工夫が見られた。私自身は中でも、コロナ禍でテレワークが進む中、ホテルをその空間に利用し需要を生み出していた点は印象に残っている。私もホテルのバイトをしており、経営状況はやはり悪化してきているためこのような事例は参考になるのではないかと感じた。しかし、「少し先の宿泊券」販売に関しては2020年末で終了しているため今後の対応についても注目していくことで新しい取り組みを見ることができるようではないかと考える。

6. 参考文献・URL

- ・LS 株式会社 [About Us | CKC-LS \(ckc-ls.com\)](#)
- ・ホテル業界の新型コロナによる影響は？-業界動向サーチ ([gyokai-search.com](#))
- ・【コロナに負けるな】穏やかな日が戻ったら、来てほしい…好きなききに泊まれる、「少し先の宿泊券」の販売を開始 | LS 株式会社のプレスリリース ([prtmes.jp](#))